

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 03 月 29 日

日東紡績健康保険組合

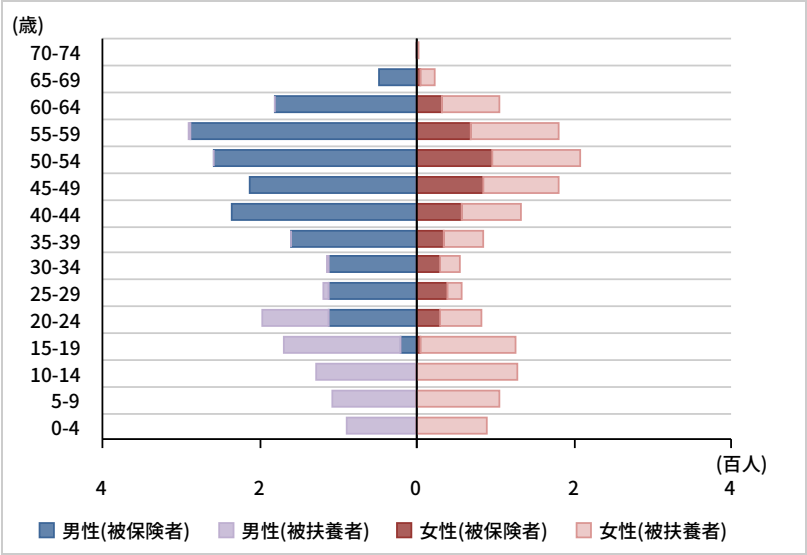
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	23101		
組合名称	日東紡績健康保険組合		
形態	単一		
業種	化学工業・同類似業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	2,220名 男性78% (平均年齢46歳) * 女性22% (平均年齢45歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	3,872名	-名	-名
適用事業所数	16カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	21カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	89% ₀₀	-% ₀₀	-% ₀₀

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	6	-	-	-	-
	保健師等	0	3	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)		全体	1,560 / 2,104 = 74.1 %				
		被保険者	1,462 / 1,576 = 92.8 %				
		被扶養者	98 / 528 = 18.6 %				
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)		全体	47 / 280 = 16.8 %				
		被保険者	46 / 273 = 16.8 %				
		被扶養者	1 / 7 = 14.3 %				

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	23,703	10,677	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	4,601	2,073	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	1,327	598	-	-	-	-
	疾病予防費	17,821	8,027	-	-	-	-
	体育奨励費	0	0	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	2,600	1,171	-	-	-	-
	小計 …a	50,052	22,546	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	1,367,922	616,181	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	3.66		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	21人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	112人	25～29	112人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	112人	35～39	159人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	235人	45～49	213人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	258人	55～59	289人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	180人	65～69	49人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	5人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	29人	25～29	38人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	30人	35～39	35人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	56人	45～49	84人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	97人	55～59	68人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	33人	65～69	5人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	89人	5～9	107人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	129人	15～19	148人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	84人	25～29	7人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	2人	35～39	1人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	0人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	2人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1人	65～69	0人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	89人	5～9	106人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	129人	15～19	122人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	53人	25～29	18人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	24人	35～39	50人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	75人	45～49	96人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	113人	55～59	111人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	73人	65～69	19人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	3人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴 高年齢化が進行。保健事業費を充実させていく方向にあるが他方医療費も増嵩しているため費用対効果の検証が必要。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

事業の一覧

職場環境の整備	
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
加入者への意識づけ	
特定健康診査事業	人間ドック
疾病予防	二次検診補助（被保険者）
個別の事業	
疾病予防	郵送検査（がん検診）
疾病予防	成人病健診費用補助（定期健診時血液検査、胃 x 線・胃カメラ）
その他	ホームページによる広報
その他	スポーツクラブ補助費
事業主の取組	
1	定期健康診断
2	インフルエンザ予防接種

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り				注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
職場環境の整備													
特定健康 診査事業	3	特定健診（被扶養者）	【目的】がん予防(乳がん、子宮頸がん) 【概要】外部委託（バリューHR）によるWeb申込システムの活用	全て	男女	40～74	被扶養者	16,503	-	-	-	-	
	4	特定保健指導	【目的】生活習慣病予防 【概要】バリューHRによる保健指導（ICT面談の導入）	全て	男女	40～74	加入者全員	4,601	-	-	-	-	
加入者への意識づけ													
特定健康 診査事業	2,3	人間ドック	【目的】成人病予防 【概要】外部委託（バリューHR）によるWeb申込システムを導入、費用の一部補助（40歳以上）、30歳以上の現役女性被保険者を対象にレディース人間ドックを新設し一定の条件下で無料に。無料となる条件を厳格化（すべて受診必須）。	全て	男女	30～74	加入者全員	7,200	-	-	-	-	
	2	二次検診補助（被保険者）		全て	男女	18～（上限なし）	被保険者	860	-	-	-	-	
個別の事業													
疾病 予防	8	郵送検査（がん検診）	【目的】成人病予防及び早期発見 【概要】健保全額負担（40歳以上）	全て	男女	40～74	基準該当者	2,422	-	-	-	-	
	3	成人病健診費用補助（定期健診時血液検査、胃x線・胃カメラ）	【目的】成人病検診 【概要】各事業所の定期健康診断について胃、血液検査代については、健保が負担及び二次検査代補助	全て	男女	30～74	被保険者,基準該当者	14,539	-	-	-	-	
その他	8	ホームページによる広報	【目的】健保事業の周知 【概要】ホームページによる周知	全て	男女	18～（上限なし）	加入者全員	720	-	-	-	-	
	8	スポーツクラブ補助費	【目的】ルネサンスの活用。 【概要】無料利用券の配布による健康増進。毎期、実需に合わせた枚数に変更。	一部の事業所	男女	15～74	加入者全員	2,600	-	-	-	-	

予 算 科 目	注1) 事業 分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価				
				対象 事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因					
注1)	1.	職場環境の整備	2.	加入者への意識づけ	3.	健康診査	4.	保健指導・受診勧奨	5.	健康教育	6.	健康相談	7.	後発医薬品の使用促進	8.	その他の事業
注2)	1.	39%以下	2.	40%以上	3.	60%以上	4.	80%以上	5.	100%						

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	安衛法に基づく健診	被保険者	男女	- ～ (上限なし)	実施率95～99％ 3月～9月実施	・複数日の選択可能 ・胃検診をバリウム、カメラの選択制とする。	・事業所毎に受診項目によって対象年齢の差異がある。	有
インフルエンザ予防接種	インフルエンザ予防接種	被保険者	男女	- ～ (上限なし)	接種費用の補助	社内ポータルによる周知、Web化。	-	無

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		特定健診・特定保健事業報告	特定健診分析	特定健診、特定保健指導ともに受診率が向上。今後さらなる対策が必要。

報告事項—2

保健事業運営報告

《概括等》

- 人間ドック、特定健診は受診率対前年比増加。レディース人間ドックの受診率は大幅増。
- 特定保健指導は2023年度（2022年度健診結果に基づく指導）より(株)バリューHRに委託開始。実施率・終了率ともに成果が表れたものの未申込者が6～7割存在することから、未申込者に対する継続的なリマインドや、受診動機の付与（特定保健指導未受診者が定期健康診断有所見者（二次検査対象者）となった場合に二次検査の補助を行わない等の対応）を検討していく。
- 郵送検査はリマインド効果により対前年比増加。

《詳細》

1. 2023年度 人間ドック・レディース人間ドック・特定健診実施状況

2023年度 人間ドック・レディース人間ドック・特定健診実施状況

	双洋	文京	NMD	P	P鈴鹿	P研	テクノ	NGT	NGK	NAT	NAS	エコ	日東紡	組合本部	Ffg	任継	総計	対象者数	2023年度 受診率	2022年度 受診率
被保険者	-	-	4	1	-	-	1	61	9	23	3	2	96	4	11	5	220	2,126	10.3%	9.5%
(レディース人間ドック)	-	-	4	1	-	-	-	14	7	22	2	1	50	4	5	-	110	(408)	(27.0%)	(16.7%)
(日東病院人間ドック)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	8	-	-	-	10			
(人間ドック男性)	-	-	-	-	-	-	-	47	2	1	-	1	38	-	6	5	100			
被扶養者	2	-	1	5	3	-	1	-	2	1	2	-	67	-	1	3	88	494	17.8%	15.7%
(人間ドック)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	1	2	15			
(健康診断)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1			
(特定健診)	2	-	1	3	3	-	1	-	2	1	1	-	57	-	-	1	72			

2. 特定保健指導実施状況

2023年度 特定保健指導実施状況

(単位：人)

	テクノ	P	P鈴鹿	NGK	Ffg	(東ミナ)	日東紡	NAS	NMD	エコ	P研	双洋	NAT	組合本部	総計	構成比
積極的支援	1	21	8	16	19		67	1	6		2	3	7	1	152	100.0%
勧奨中（未申込者）	1	19	8	10	18		41	1	5		2		6	1	112	73.7%
支援終了				3	1		15					3	1		23	15.1%
支援中		1					8								9	5.9%
初回面談辞退				1											1	0.7%
対象外（資格喪失）		1		1			3		1						6	3.9%
不参加				1											1	0.7%
動機付け支援	2	1	1	12	9	1	76		8	1	1	1	7		120	100.0%
勧奨中（未申込者）	1	1	1	7	7		45		4		1		3		70	58.3%
支援終了	1			5			27		4			1	1		39	32.5%
支援中							2			1			2		5	4.2%
初回面談辞退													1		1	0.8%
対象外（資格喪失）					2	1	2								5	4.2%
総計	3	22	9	28	28	1	143	1	14	1	3	4	14	1	272	

※2023年10月時点で当局に提出した実績は特定健診実施率74.1%、特定保健指導実施率16.8%となり、2025年度（再来年度）は後期高齢者支援金加算（ペナルティ）基準をクリア。

報告事項—2

3. 郵送検査実施状況

2023年度郵送検査申込状況 (単位：件)

肺門部肺がん検診			前立腺ガン検診 (PSA検診)			子宮頸がん検診			骨粗鬆症検診			T(大腸がん検診(便潜血) (2日法)			胃がんリスク検診セット (PG・ピロリ菌)			腸内環境検査			歯周病リスク検査 (ADCHECK)			総合計
被保険者	被扶養者	合計	被保険者	被扶養者	合計	被保険者	被扶養者	合計	被保険者	被扶養者	合計	被保険者	被扶養者	合計	被保険者	被扶養者	合計	被保険者	被扶養者	合計	被保険者	被扶養者	合計	
27	4	31	83	2	85	54	33	87	50	28	78	101	36	137	45	28	73	86	29	115	26	8	34	640

4. ルネサンス特別利用券(～2024 年 1 月)

□年度別利用状況

前年比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期	月平均数	前年差	前年比
2018年度	11	100	151	145	115	168	147	122	117	114	140	374	1,704	142.0	—	—
2019年度	173	242	236	240	265	243	165	133	95	107	121	64	2,084	173.7	380	122.3%
2020年度	5	0	57	73	85	81	103	100	90	94	124	122	934	77.8	▲ 1,150	44.8%
2021年度	71	58	60	74	73	64	78	66	56	80	74	100	854	71.2	▲ 80	91.4%
2022年度	49	68	68	67	56	79	74	63	67	78	77	127	873	72.8	19	102.2%
2023年度	101	122	125	129	126	144	133	126	132	134	0	0	1,272	106.0	399	145.7%
対 前年	52	54	57	62	70	65	59	63	65	56	▲ 77	▲ 127	399			
	206.1%	179.4%	183.8%	192.5%	225.0%	182.3%	179.7%	200.0%	197.0%	171.8%	0.0%	0.0%	145.7%			

以上

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	未選択	成人病予防	➔	二次検診受診、人間ドック勧奨	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	- 人間ドック、レディース人間ドックの推奨、受診率向上 - 被扶養者の特定健診受診率向上	➔	- ホームページによる勧奨 - 被扶養者へのインセンティブ付与による受診結果の入手等

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	- 二次検診補助 - 人間ドック、レディース人間ドックの推進 - スポーツクラブ利用推進 - がん予防のための郵送検査補助	➔	- 毎回有所見となる者への保健指導 - 受診項目厳格化 - 実需に見合った利用券の配布 - Web化による加入者利便性の向上、検体未提出者に対する検査キット代金請求

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 健康診査受診率向上	事業全体の目標 特定健診受診率80%、特定保健指導受診率20% 人間ドック受診率20%、レディース人間ドック受診率40%
----------------------	--

事業の一覧
職場環境の整備
加入者への意識づけ
個別の事業

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標													アウトカム指標							
職場環境の整備																				
加入者への意識づけ																				
個別の事業																				

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. I C Tの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他